

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	独立行政法人理化学研究所設備整備費補助		担当部局庁	研究振興局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	基礎研究振興課		基礎研究振興課長 安藤 慶明		
会計区分	一般会計		政策・施策名	科学技術の戦略的重点化 X-1 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進及び倫理的課題等への取組 X-2 情報通信分野の研究開発の重点的推進 X-3 環境分野の研究開発の重点的推進 X-8 新興・融合領域の研究開発の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人理化学研究所法第16条		関係する計画、 通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	理化学研究所の設置する研究所設備の整備充実を図るため、研究所が行う研究所設備の整備に要する経費に対し補助を実施し、もって科学技術に関する試験及び研究等の業務を総合的に行うことにより、科学技術の水準の向上を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国唯一の科学技術全般を総合的に行う研究機関として、物理学、化学、生物学、医科学等の幅広い研究分野を対象に、世界最先端の研究活動に必要な先端的な分野融合研究、社会ニーズ等を踏まえた政策課題対応型研究及び最先端研究を支える研究基盤の構築・共用・高度化を総合的・戦略的に実施する理化学研究所に対し、必要な研究所設備の整備に要する経費の補助を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	4,900	-	-	
		繰越し等	-	-	△4,894	4,894	-	
		計	-	-	6	4,894	-	
	執行額	-	-	6	-	-		
	執行率(%)	-	-	100.0%	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (24年度)
	【設備の整備】 (独)理化学研究所の事業を実施するうえで必要な設備を整備する			-	-	世界最先端の研究活動を実施するうえで必要となる設備を整備。平成24年度においては、ライフサイエンス技術基盤研究事業に必要な設備等を整備。	-	
	達成度		-	-	100.0%	-		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	設備整備の整備件数		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	1	-
単位当たり コスト	-		算出根拠	※(独)理化学研究所の事業を実施するうえで必要な設備整備費補助金のため、単位当たりコストの算出は困難				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	-	-	-	24年度限りの経費				
	計	-	-					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	当事業は、科学技術基本計画にも必要性が明記されているなど、政策の優先度が極めて高く、国民生活の発展のために必要な事業である。イノベーションの苗床となる多様な基礎研究を行うといった事業目的を達成するためには、国から一定の財政支援を受けた独立行政法人が当該事業を実施する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の選定に際しては、随意契約見直し計画等に基づき可能な限り一般競争入札を行う取組を進めるなど、競争性の確保に向けた取組を進めている。事業の実施にあたっては、真に必要なものに限って支出しており、受益者との負担関係は妥当である。また、公認会計士など外部有識者による検討委員会を設置して総合的な評価を行うなど、競争性を確保するための取組と共に、支出の合理性、必要性についての見直しを図っている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-				
事業の有効性	事業実施にあたって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	事業実施にあたっては、所内規程にもとづき契約の競争性を高めるなどの取組を行っており、コスト削減に努めている。また、それぞれ既存の研究基盤の利用を促進する設備整備等を実施しており、その手段、成果目標、活動実績は適切であり、十分な活用が予定されている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	委託業務及び調達における経費削減、透明性の向上を図る等の取組は、「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)においても指摘があるとおり、第2期中期目標期間を通じ実施してきたところであるが、第3期中期目標期間においてもこれらの取組を継続することにより、経費の節減に努める必要がある。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
日本経済再生に向けた経済対策の一環として成長による富の創出を図るため、平成24年度補正予算に計上した事業であり、平成24年度をもって廃止している。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
6百万円

〔独立行政法人理化学研究所に対し、研究設備の
整備に必要な金額を補助〕

【A】

【補助】

〔独〕理化学研究所
6百万円

【一般競争】

【B】

・麻酔時生
体情報モニ
ター
・株式会社
フジオテック

・6百万円

神戸研究所
分子イメージ
ング科学
研究セン
ターにおけ
る麻酔時生
体情報モニ
ターの購入

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位: 百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(独)理化学研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
設備整備費補助金	購入費等	6			
計		6	計		0
B.株式会社フィジオテック			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
購入	麻酔時生体情報モニター	6			
計		6	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

B.研究事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社フィジオテック	麻酔時生体情報モニターの購入	6	不落随契	-